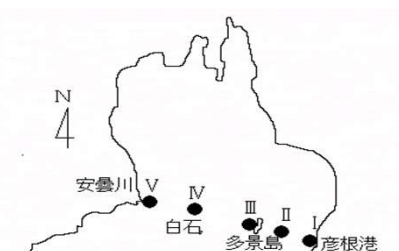


# 琵琶湖定点定期観測結果速報(令和8年3月)

数値は速報値であり、確定値ではありませんので、ご留意下さい。

調査年月日 令和8年3月9日

調査地点 彦根市～高島市安曇川町に至る5地点  
(ただし、湖岸水温は彦根市八坂町  
滋賀県水産試験場地先における測定値)



調査地点図

## 調査結果

平均値 …… 5地点の平均値

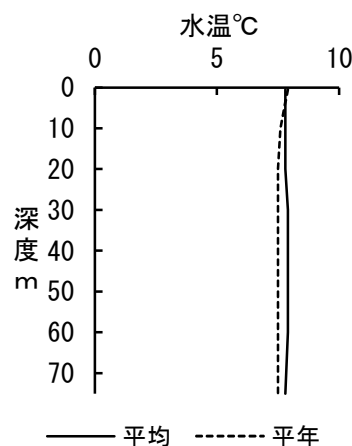
平年値 …… 透明度、湖水温、湖岸水温、プランクトン沈殿量は1991年～2020年(平成3年～令和2年)の同時期調査の平均値

DO(溶存酸素濃度)は2016年～2025年(平成28年～令和7年)の同時期調査の平均値

1. 透明度                      3月平均値    5.5m                      平年値                      6.4m

## 2. 湖水温 (°C)

深度 (m)	3月平均値	平年値	平年差
			(平均値-平年値)
0.5	7.8	7.9	-0.1
10	7.8	7.6	+0.2
20	7.8	7.5	+0.3
30	7.9	7.5	+0.4
40	7.9	7.5	+0.4
50	7.9	7.5	+0.4
60	7.9	7.5	+0.4
75	7.8	7.5	+0.3



## 3. 湖岸水温 (°C)

月(旬)	平均値	平年値	平年差
			(平均値-平年値)
2月下旬	8.9	7.2	+1.7
3月上旬	9.1	7.8	+1.3
3月中旬	8.8	8.3	+0.5

#### 4. プランクトン沈殿量 (ml/m<sup>3</sup>)

水層 (m)	3月平均値	平年値	平年差
			(平均値-平年値)
0~10	2.2	5.3	-3.1
10~20	1.4	2.3	-0.9
20~40	1.0	1.8	-0.8
40~75	1.2	1.4	-0.2

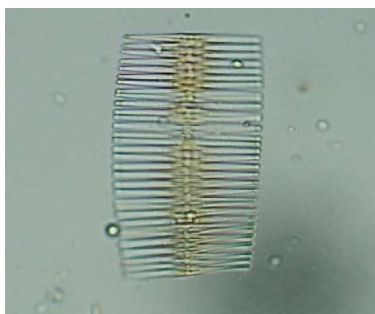
(プランクトンネットNXX14使用)

#### 5. 表層のプランクトン優占種

○プランクトンネットNXX14による採集(5%中性ホルマリン固定。植物プランクトンは地点Iと地点IV、動物プランクトンは全地点)

植物プランクトンについては、地点Iでは*Fragilaria crotonensis*(オビケイソウ:珪藻)、地点IVでは*Volvox aureus*(ボルボックス:緑藻)の細胞数が最も多かった。

動物プランクトンについては、全地点でカイアシ類のノープリウス期幼生の個体数が最も多かった。



*Fragilaria crotonensis*



*Volvox aureus*



ノープリウス期幼生

#### 6. DO (溶存酸素濃度 : mg/L) 多項目水質計による測定値。

深度 (m)	3月平均値		平年値		平年差	
	DO	(酸素飽和度%)	DO	(酸素飽和度%)	DO	(酸素飽和度%)
0.5	11.4	95.8	11.6	99.3	-0.2	(-3.5)
10	11.2	94.5	11.5	96.7	-0.3	(-2.2)
20	11.3	95.1	11.3	95.6	0.0	(-0.5)
30	11.3	94.9	11.3	95.0	0.0	(-0.1)
75	11.1	93.4	10.6	89.3	0.5	(+4.1)